令和8年10月16日

稲 作 情 報 No.25

大豆適期収穫・そば生育状況・麦適期播種・早期秋起し

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会［作成：福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会］

【大豆】**成熟期が近づいていますが、一部落葉が遅い圃場もあります。**
収穫前に収穫作業の妨げとなるような大型の雑草は除去しましょう。
刈り遅れは、裂莢による損失、多雨による腐敗粒のリスクが高まるため、**適期の収穫を実施しましょう。**
【そば】気温の低下により結実・黒化が進んでおり、**成熟期は平年並みの見込み**です。
【大麦】土壌が湿潤条件での播種は発芽不良や初期生育の不良の原因となります。**播種がまだの圃場は、圃場が乾いたことを確認してから播種を行いましょう。**今週末は播種適期の見込みです。
既に播種済の圃場は、排水溝の手直しを実施し、排水に努めましょう。
【水稲収穫後】**１０月中に秋起しをしましょう**（早期秋起こしの効果はNo23参照）

［大豆］農業試験場周辺の里のほほえみ圃場



成熟期直前の圃場



一部落葉が遅い圃場もある

［大豆の収穫時期の目安］

項目	状態
子実水分	２２％以下
子実の状態	球形で爪跡が５㎜程度付く硬さ、品種固有の色
莢	莢は褐色で振るとカラカラと音がする
葉柄	大部分が落下

［そば］



気温の低下で結実・黒化が進んでいる

［大麦］



排水溝の崩れによる滞水

［子実水分と外観の目安］



水分30％以上　27％　22％

［年次による成熟期の違い］

